

研究実施のお知らせ

2025年8月6日 ver.1.0

研究課題名

CT検診受診後の精密検査受診率の疑い疾患病名ごとの後方視的調査

研究の対象となる方

- 1) 2009年4月から2025年3月までの間にJA島根厚生連の胸部CT検診を受けた方。

研究の目的・意義

島根大学医学部附属病院呼吸器・化学療法内科とJA島根厚生連（JASKLCTグループ）では、2009年から肺がん及びそのほかの呼吸器疾患の早期発見を目的に低線量CTによる胸部CT検診を行っています。

一般的に、肺がん検診ではその後の精密検査受診率は80-90%程度とされています。しかし、肺がん以外の疾患に関してはその後の精密検査受診率に関する報告はありません。

我々の行っているCT検診では肺がんのほか、間質性肺炎、COPD、非結核性抗酸菌症などの疑い病名を記載し結果を返却しています。これらの病気の認知率は肺がんと比較して低いことが想定され、要精密検査と判断されても精密検査を受診していない可能性があります。そこで疑い疾患ごとの精密検査受診率を後方視的に調査することにしました。

すでに「胸部CT検診データを活用した呼吸器疾患早期発見のためのデータベース構築」（研究等管理番号20250515-1）として当院の倫理委員会の承認を得てデータベースの作成を行っています。本研究ではそのデータベースを使用し精密検査受診率を調査します。

研究の方法

1) 研究実施期間

2025年9月（研究許可後）から2027年3月31日

2) 研究方法

CT検診を受けられた方のうち、要精密検査と判断された方の割合を疑い疾患ごとに調査します。次いで、疑い疾患ごとに精密検査の受診率を調査し、疾患ごとに比較を行います。

3) 使用する情報

既存のデータベースから次のデータを収集します。

- 1) 受診者の年齢、性別
- 2) CT 検診受診日
- 3) 要精密検査の有無
- 4) 精密検査受診の有無
- 5) 精密検査受診日
- 6) 疑い疾患
- 7) 最終診断
- 8) 精密検査結果（要治療、要精査、経過観察、異常なしなど）
- 9) 喫煙歴
- 10) 問診表に記載された症状
- 11) 一秒率

4) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究結果の最終報告を行ってから 10 年間保存いたします。なお、保存した情報は本研究のみに用い、他の目的では使用しません。

5) 研究計画書の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧することができますので、お申し出ください。

6) 研究成果の取り扱い

この研究の成果は、学会や論文で発表する予定ですのでご了解ください。

研究組織

研究責任者

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 沖本 民生

情報の利用停止

本研究ではだれの情報か分からない形で収集されますので、情報の利用停止の申し出には応じられません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 沖本 民生

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581